

# futbol y vida



Poco a poco ...  
Poco a poco ...

新人戦の組み合わせが決まる!!  
トレーニングが全ての結果を生む!!

新チームの初公式戦、新人戦初戦(11/29)に向けてリスタート!!

子どもたちの成長の鍵は、全て日常生活の中にあり!!

先週末、中間考査が無事に終了しました。自主トレーニング期間中、子どもたちの試験勉強の成果はどうだったでしょうか？

10月22日には、新人戦の組み合わせが決まり、10日ぶりの全体練習の前にミーティングを行い、今一度サッカー部のコンセンサスの確認（服装等を含めた**学校のルール**の遵守や**日々のトレーニングから全力で行う**ことなど）をしてから、久しぶりのグラウンド練習に臨みました。再開後初日のトレーニングはあいにくの雨でしたが、ミーティングの効果もあったのかアップから声もよく出ていて、6kmランニングも精力的に走るなど、久しぶりのトレーニングも「**いい空気感**」を維持したまま行われていました。新チームとなって三週間目となりますが、サッカーに対する子どもたちの意識の変化と成長を少しずつ(**poco a poco**)感じています。特に、二年生は、合流してから始めた新しいトレーニングを謙虚に一年生に教わるなど真摯に取り組む姿勢が見られ、純粋に「**サッカーが上手になりたい!!**」という気持ちがヒシヒシと伝わってきています。

さて、考査後最初のTRMは、前任校時代にご近所ということもあり、毎週火曜日に定期戦をするほどの仲で、間違いなく一番多くTRMをしてきた**大成高校**でした。自分がここに赴任してからも、数回来てもらっています。この日は、翌日の選手権準々決勝(**VS 成立学園**)のベンチ入り（サブメンバー）選考ゲームとだけあって、相手はいつも以上に気合十分でした。もちろん、千載一遇となった高校サッカー最後のチャンスを掴むために燃えている三年生もいます。この超真剣モードのチームに、新チームが怯まずにどのくらい闘えるのか？楽しみでした。子どもたちには、ゲーム前に今日の相手の状況を全て伝えて大成戦に挑みました。この日は、スピード、パワー、スキルの高さに加え、相手チームの「**選手権のメンバーに絶対入ってやる!!**」という前向きで強い気持ちに終始圧倒されました。この年代は、メンタリティが勝負を大きく左右するものです。それを、ゲームを通して直に肌で感じることができ、彼らにとって貴重な体験を得ました。



全ては日々積み重ね



## 「教育」とは「人作り」、丹精込めてタププリ時間をかけて行うものです!!

日頃から本校は、七地区の公式戦でも会場校として大会運営に関わっています。会場校の仕事には、責任が伴いとても緊張感があります。また、普段接することのない多くの先生方との関わり方も（挨拶や言葉使い、気（心）遣いなどの立ち居振る舞い）同様です。「苦労は買ってでもしろ」といいますが、このような経験は、片倉高校サッカー部に所属しているからこそ獲得できることであり、選手としてプレーするだけではなく、大会を支えるという別の側面にも触れ、知ることで、子どもたちは心身ともに成長していきます。まさに、会場校運営は生きた社会勉強なのです。

高校サッカーに携わって(選手の時代も含め)三十年以上も経ちますが、もちろんそのベースは「教育」です。チームメイトはもちろんのこと、先生方やスタッフ、他校の先生や対戦相手の選手、そして、いつも陰ながら応援して下さる保護者の方々…、多くの人に支えられて子どもたちは成長していきます。特に、私のスタンスは、サッカーのトレーニングを全力でやるのは出来て当たり前であり、それ以上に学校行事やクラスの委員会、係でも積極的に参加させて中心的な存在になれるように指導しています。そこには子どもたちにサッカーだけではなく幅広い人間に育って欲しいという願いがあります。

“**「少年」たちを「大人」へ**” 育てる過程には、莫大な時間と手間をかけていかなければなりません。「人作り」は「ものを作る」こととは違い、効率良く、合理的にというわけにはいかないのです。時には、じっくり子どもたちと根気よく時間を掛けて向き合わなければいけないこともあります。現在、サッカー部員は25人ですが、全員に同じようにトレーニングやTRMを設定しているので、どうしてもトレーニング時間は必要になります。子どもたちも言い訳などできない同じ環境の中にいるので、自分たちの目指すべきゴールが共有でき、その中でお互いが切磋琢磨しながらもチームのため仲間のために支え合う精神を養っていきます。片倉高校サッカー部は、まだまだ**「成長途中!!!」**ですが、私たちスタッフは、子どもたちに時間を掛けてじっくり付き合っ成長を見守りたいと思っています。

### <前任校のGKがアシスタントコーチとして練習参加します!!>

中間考査明けから、土・日、祝日に前任校のGKであった**齋藤雄斗（高3）**が、GKアシスタント（見習い）コーチとして片倉高校サッカー部GK陣の指導を手伝っています。彼の選手権とT4最終戦も終わり高校サッカー生活はひと段落しました。進路もお隣日本工学院専門学校に推薦で決まったということもありこちらから声を掛けました。GK選手としては小柄で地味ですが、トミーコーチも絶賛するほど大変努力家でプレーの安定感があり、とても成長しました。試合の経験値だけは間違いなく全国区です。三年間で多くの指導者から得て培ったGKについてのノウハウを、今度は片倉高校GK陣に還元して欲しいと思います。

また、高校一年時は私が担任をしていたので、その人間性は保証済みです。片倉高校の子どもたちの見本となること間違いありません。これから、アシスタントコーチとしての活躍を期待します。



<三年間培ったノウハウを片倉GK陣へ>

### <After the Game>

つい先日まで、巷では「コロナ」と「熱中症」の話題で持ちきりでしたが気が付けばもう直ぐ11月です。どこからかキンモクセイの香りと朝晩の寒さが応える短い秋の季節となりました。

チームは、先週から、一か月後に迫った新人戦に向けトレーニングを再開。一人一人が、日々のトレーニングを高い意識を持って全力で取り組み、新人戦に臨みたいと思います